

OKAYAMA SHINKIN 2024

第112期 業務報告書

2023年4月1日～2024年3月31日



おかやま信用金庫



基本理念

おかやま信用金庫は、
金融を通じて地域社会の発展に尽くし、
皆様の豊かな暮らしの
パートナーとして努力します。

モットー

いつも、あなたと。

スローガン

- 「協力一致」
- 地元密着の徹底
- 競争力の強化
- 人材の育成

当金庫の概要

創	立	1913(大正2)年4月2日
本	店	岡山市北区柳町1丁目11番21号
店	舗	31店舗
出	資	金 17億6千万円
口	数	35,380,528口
預	金	5,922億円
貸	出	金 2,425億円
代理業務貸付残高		69億円
会	員	数 45,216名
役	職	員 数 475名

(2024年3月31日現在)

ごあいさつ



会員の皆様には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は当金庫の業務運営に格別のご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに当金庫第112期の決算内容と業務概況をご報告申し上げます。

さて、2023年度の日本経済は、新型コロナウイルス感染症が2類から5類に移行し、インバウンド需要の回復や、供給制約の緩和による輸出の増加等、外需が牽引する形で、社会や経済活動の正常化が進みました。

一方、地政学リスクの悪化や歴史的な円安も加わり、原油価格や原材料費が高騰し、相次ぐ商品やサービスの値上げは、企業の設備投資だけでなく、

個人消費にも大きな影響を与えることとなり、金融市場では、米国金利の上昇や日本銀行のイールドカーブコントロールの修正、さらに、マイナス金利政策の解除により市場金利が上昇しました。また、日経平均株価はバブル期以来となる最高値を更新し、金融市場が大きく動いた一年となりました。

このような状況下、当金庫では、中小企業のお客様に対し、外部専門家とも連携した課題解決の提案をおこない、ビジネスチャンスを創出する「岡山県しきん合同ビジネス交流会」の開催や、独自性・成長性のある企業を対象とした「地域活性化支援制度エリアサポート」による助成、若手経営者の会「おかやまPRODUCE」の運営支援等により、事業価値の向上に努めてまいりました。

また、個人のお客様には、問題点や課題を解決するライフプランの提案、専門スタッフを中心とした資産運用コンサルティング活動の強化、各種セミナー・相談会の開催により、生涯価値の向上をサポートいたしました。

こうした活動の結果、2023年度は、本業業務での収益力を表すコア業務純益は1,192百万円、経常利益は888百万円、当期純利益は589百万円を計上いたしました。また、経営の健全性を示す自己資本比率は、内部留保の増加に努め、自己資本の質を高めたことで11.24%を確保することができました。

当金庫は、昨年度より「共感」をベースとして、お客様との「共創」を目指す、中期経営計画「おかやましきんResilienceプラン」をスタートさせております。変化が激しく、不確実性が高い現在の環境に適応し、地域とともに成長するため、お客様と当金庫双方の“レジリエンス”を高め、地域の皆さまの事業価値・生涯価値の向上を目指してまいります。

同時に、役職員一人一人の「人間力」を結集し、信用金庫の存在意義である「中小企業専門性」「協同組織性」「地域性」という3つの特性を活かしながら、地域金融機関としての存在を示し、より一層の社会的責任を果たしていく所存でございます。

今後とも格別のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

2024年6月

おかやま信用金庫

理事長 **桑田 真治**

貸 借 対 照 表

2024年3月31日現在

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)	百万円	(負 債 の 部)	百万円
現 金	4,610	預 金 積 金	592,210
預 け 金	71,648	当 座 預 金	16,300
コ ー ル ロ ー ン	33,000	普 通 預 金	390,999
買 入 金 銭 債 権	82,635	貯 蓄 預 金	2,347
有 価 証 券	183,322	通 知 預 金	86
国 債	12,439	定 期 預 金	171,278
地 方 債	58,056	定 期 積 金	8,325
社 債	65,594	そ の 他 の 預 金	2,872
株 式	590	譲 渡 性 預 金	972
そ の 他 の 証 券	46,640	借 入 金	6,780
貸 出 金	242,519	借 入 金	6,780
割 引 手 形	3,444	そ の 他 負 債	1,813
手 形 貸 付	13,614	未 決 済 為 替 借	314
証 書 貸 付	214,842	未 払 費 用	267
当 座 貸 越	10,618	給 付 補 填 備 金	2
そ の 他 資 産	4,546	未 払 法 人 税 等	164
未 決 済 為 替 貸	316	前 受 収 益	113
信 金 中 金 出 資 金	3,190	払 戻 未 済 金	6
前 払 費 用	35	払 戻 未 済 持 分	9
未 収 収 益	624	職 員 預 り 金	394
そ の 他 の 資 産	380	リ ー ス 債 務	127
有 形 固 定 資 産	9,916	資 産 除 去 債 務	59
建 物	2,451	そ の 他 の 負 債	351
土 地	6,766	賞 与 引 当 金	272
リ ー ス 資 産	116	役 員 賞 与 引 当 金	21
その他の有形固定資産	581	役 員 退 職 慰 労 引 当 金	244
無 形 固 定 資 産	46	そ の 他 の 引 当 金	87
ソ フ ト ウ ェ ア	32	再 評 価 に 係 る 繰 延 税 金 負 債	592
リ ー ス 資 産	10	債 務 保 証	2,976
その他の無形固定資産	3	負 債 の 部 合 計	605,971
前 払 年 金 費 用	647	(純 資 産 の 部)	
繰 延 税 金 資 産	606	出 資 金	1,769
債 務 保 証 見 返	2,976	普 通 出 資 金	1,769
貸 倒 引 当 金	△2,549	利 益 剰 余 金	28,749
(うち個別貸倒引当金)	(△1,797)	利 益 準 備 金	1,862
資 産 の 部 合 計	633,928	そ の 他 利 益 剰 余 金	26,887
		特 別 積 立 金	25,500
		当 期 未 処 分 剰 余 金	1,387
		会 員 勘 定 合 計	30,518
		そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	△3,716
		土 地 再 評 価 差 額 金	1,155
		評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	△2,561
		純 資 産 の 部 合 計	27,957
		負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	633,928

損益計算書

2023年4月1日から
2024年3月31日まで

科 目		金	額
経常収益		千円	千円
資金運用収益		5,439,902	7,222,386
貸出金利息		3,301,271	
預け金利息		82,680	
コールローン利息		28,238	
有価証券利息配当金		1,213,325	
その他の受入利息		814,386	
役務取引等収益		1,416,624	
受入為替手数料		418,498	
その他の役務収益		998,126	
その他業務収益		233,467	
国債等債券売却益		125,464	
その他の業務収益		108,003	
その他経常収益		132,391	
貸倒引当金戻入益		46,204	
償却債権取立益		264	
株式等売却益		83,286	
その他の経常収益		2,636	
経常費用			6,333,999
資金調達費用		112,120	
預金利息		56,848	
給付補填備金繰入額		1,746	
譲渡性預金利息		194	
借入金利息		49,927	
債券貸借取引支払利息		1,529	
その他の支払利息		1,873	
役務取引等費用		464,215	
支払為替手数料		93,920	
その他の役務費用		370,295	
その他業務費用		377,315	
国債等債券売却損		376,717	
その他の業務費用		598	
経常費用		5,213,709	
人件費		3,247,354	
物件費		1,749,302	
税金		217,052	
その他経常費用		166,638	
貸出金償却		4,371	
株式等売却損		19,189	
その他の経常費用		143,077	
経常利益			888,386
特別利益			11,669
固定資産処分益		11,669	
特別損失			101,755
固定資産処分損失		52	
減損損失		101,702	
税引前当期純利益			798,300
法人税、住民税及び事業税		208,555	
法人税等調整額		277	
法人税等合計			208,833
当期純利益			589,467
繰越金（当期首残高）			757,898
土地再評価差額金取崩額			39,932
当期末処分剰余金			1,387,299

第112期剰余金処分計算書

2023年4月 1 日から
2024年3月31日まで

科 目	金 額
当 期 未 処 分 剰 余 金	1,387,299,023 円
剰 余 金 処 分 額	653,070,787
普通出資に対する配当金	(年 3 %) 53,070,787
特 別 積 立 金	600,000,000
繰 越 金 (当 期 末 残 高)	734,228,236

上記のとおり報告します。
2024年6月

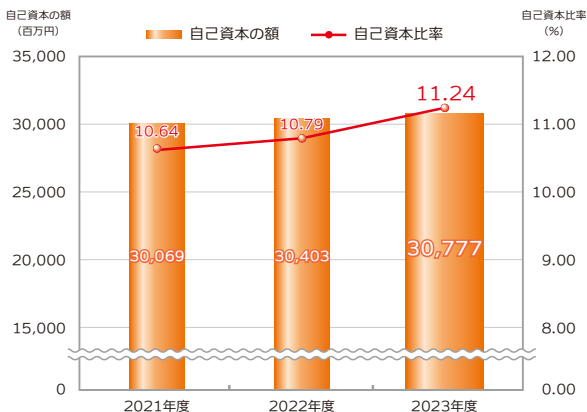
理 事 長	桑 田 真 治	理 事	板 野 次 郎
専務理事	三 宅 崇 文	〃	野 崎 泰 彦
常務理事	石 野 真 二	〃	岩 坪 誠 次 郎
常勤理事	若 林 薫		
〃	吉 本 雅 彦		
〃	岡 部 聡		
〃	草 加 幸 弘		
〃	桑 田 仰		

以上の各項につき監査の結果、正確であることを認めます。
2024年6月

常勤監事	赤 田 一 知
監 事	足 羽 憲 治
監 事	長 森 定 好

※監事 足羽憲治、長森定好は、信用金庫法第32条第5項に定める員外監事です。

自己資本の額と自己資本比率推移(単体・国内基準)



- 自己資本比率は、金融機関の財務体質の健全性を示す指標の1つで、国内のみで業務をおこなう金融機関は**4%以上**が必要とされております。
- 2023年度の当金庫の自己資本比率は、**11.24%**となり、「**経営体質が健全で問題がない金融機関**」に該当します。
- 自己資本は、「コア資本に係る基礎項目」と「コア資本に係る調整項目」で構成されており、「コア資本に係る基礎項目」から「コア資本に係る調整項目」を控除したものが「自己資本の額」となっております。

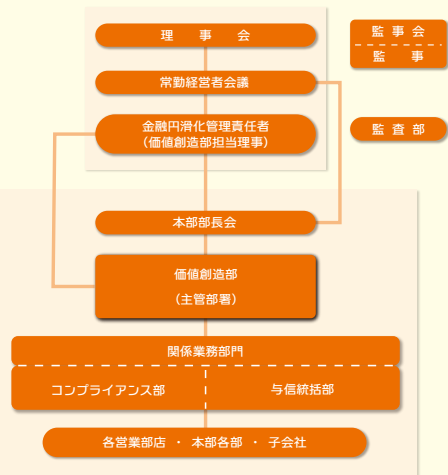
中小企業者等の事業についての改善または再生のための支援をおこなうための体制整備

当金庫では、中小企業者のお客様の事業についての改善または再生のための支援を適切におこなうための体制を以下のとおり整備しております。

当金庫は経営改善計画を策定する意思のあるお客様から要請がある場合には、経営改善計画策定の支援を、営業部店と価値創造部「ビジネスサポートグループ」にておこなっております。なお、貸付条件の変更などに際して、経営改善計画を策定した場合には、当該改善計画の進捗状況を適切に管理するとともに、必要に応じて経営相談・経営指導をおこなうなど、経営改善に向けた取り組みをおこなっております。

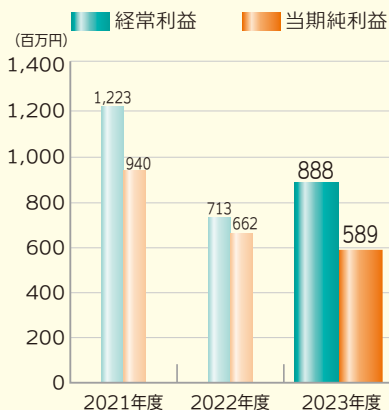
また、経営改善支援機能の充実を図るため、必要に応じて中小企業診断士、公認会計士、税理士、弁護士などの専門家の応援を仰ぎ、きめ細やかな経営改善・再生支援に取り組んでおります。

〈組織図〉

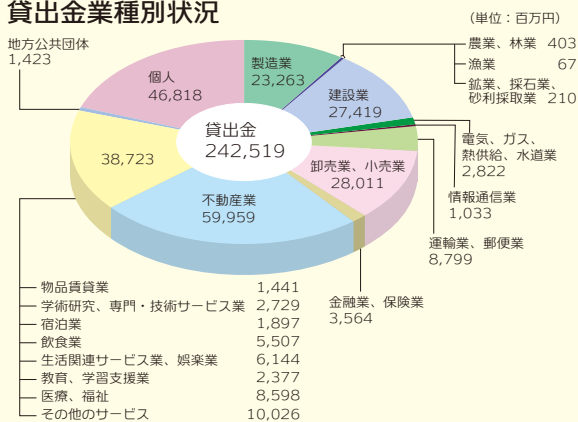


(2024年3月31日現在)

経常利益・当期純利益の推移

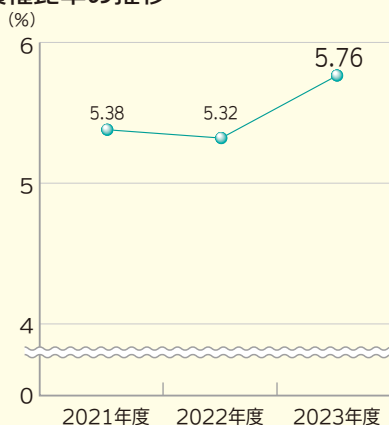


貸出金業種別状況

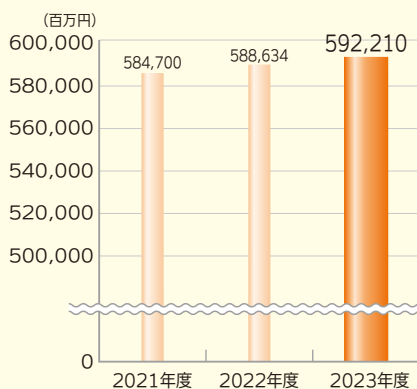


(注) 業種別区分は、日本標準産業分類の大分類に準じて記載しております。

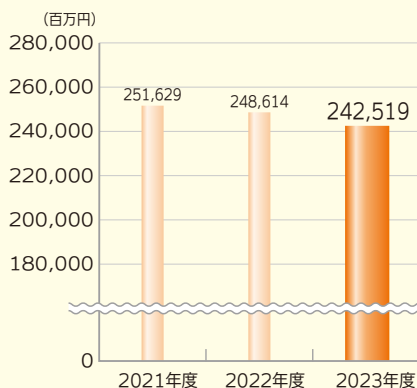
不良債権比率の推移



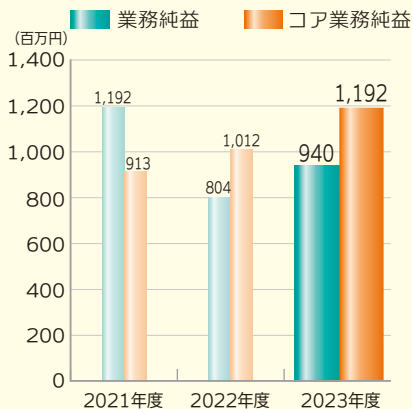
預金積金残高の推移



貸出金残高の推移



業務純益・コア業務純益の推移



最近3年間の主要な経営指標の推移

	2021年度	2022年度	2023年度
経常収益(千円)	7,209,379	6,947,591	7,222,386
経常利益(千円)	1,223,237	731,436	888,386
当期純利益(千円)	940,905	662,809	589,467
純資産額(百万円)	30,470	27,558	27,957
総資産額(百万円)	721,839	651,654	633,928
預金積金残高(百万円)	584,700	588,634	592,210
貸出金残高(百万円)	251,629	248,614	242,519
有価証券残高(百万円)	217,832	210,551	183,322

金融再生法開示債権および信用金庫法開示債権の 保全・引当状況

(単位：百万円)

区 分	2022年度	2023年度
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2,120	2,253
危険債権	10,738	11,255
要管理債権	701	795
三月以上延滞債権	—	—
貸出条件緩和債権	701	795
小計(A)	13,560	14,304
保全額(B)	12,267	12,809
個別貸倒引当金(C)	1,819	1,797
一般貸倒引当金(D)	26	37
担保・保証等(E)	10,422	10,974
保全率(B) / (A)	90.46%	89.54%
引当率((C) + (D)) / ((A) - (E))	58.80%	55.09%
正常債権(F)	241,037	233,648
総与信残高(A) + (F)	254,598	247,953

- (注) 1. 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権およびこれらに準ずる債権です。
2. 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態および経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収および利息の受取りができない可能性の高い債権で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」に該当しない債権です。
3. 「要管理債権」とは、信用金庫法上の「三月以上延滞債権」に該当する貸出金と「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金の合計額です。
4. 「三月以上延滞債権」とは、元本または利息の支払が約定支払日の翌日から三月以上遅延している貸出金で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」および「危険債権」に該当しない貸出金です。
5. 「貸出条件緩和債権」とは、債務者の経営再建等を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めのを行った貸出金で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」および「三月以上延滞債権」に該当しない貸出金です。
6. 「個別貸倒引当金(C)」は、貸借対照表上の個別貸倒引当金の額のうち、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」および「危険債権」の債権額に対して個別に引当計上した額の合計額です。
7. 「一般貸倒引当金(D)」には、貸借対照表上の一般貸倒引当金の額のうち、要管理債権の債権額に対して引当てた額を記載しております。
8. 「担保・保証等(E)」は、自己査定に基づいて計算した担保の処分可能見込額および保証による回収が可能と認められる額の合計額です。
9. 「正常債権(F)」とは、債務者の財政状態および経営成績に特に問題がない債権であり、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」および「要管理債権」以外の債権です。
10. 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」および「正常債権」が対象となる債権は、貸借対照表の「有価証券」中の社債(その元本の償還および利息の支払の全部または一部について保証しているものであって、当該社債の発行が有価証券の私募(金融商品取引法第2条第3項)によるものに限る。)、貸出金、外国為替、「その他資産」中の未収利息および仮払金ならびに債務保証見返の各勘定に計上されるものならびに注記されている有価証券の貸付けを行っている場合のその有価証券(使用貸借または賃貸借契約によるものに限る。)です。

業 務 の 概 要

1 総代会

通常総代会

2023年6月28日（水）に開催しました、第111期通常総代会におきまして、下記の議案を付議し、原案どおり承認可決されました。

報告事項 第111期（2022年4月1日から2023年3月31日まで）業務報告、貸借対照表、損益計算書および附属明細書の内容報告の件

決議事項

第1号議案 「剰余金処分案承認」の件

第2号議案 「長期間所在が不明である会員除名」の件

第3号議案 「不良債権処理のための会員除名」の件

第4号議案 「役員賞与支給」の件

第5号議案 「理事選任」の件

第6号議案 「退任理事に対する退職慰労金贈呈」の件

2 登記事項

2023年4月3日登記

2023年3月31日現在の出資口数および出資総額を次のとおり変更いたしました。

総口数	35,516,712口
-----	-------------

払込済出資総額	1,775,835,600円
---------	----------------

3 その他のおこな事項

(1) お客様のニーズに対応するため、下記業務の取扱いを開始しました。

○ 2023年4月3日

◆投資信託新商品（1商品）

・あおぞら・新グローバル分散ファンド
（限定追加型）2023-04

◆保険新商品（1商品）

・ユニット・リンク介護プラス

◆SDGs定期預金「おかやましんきん 未来へつなぐ
2023」

○ 2023年4月14日

◆「e-dash」への紹介業務

○ 2023年5月1日

◆保険新商品（2商品）

- ・しんきんらいふ終身FS（無告知型）
- ・プレミアムジャーニー

○ 2023年7月3日

◆投資信託新商品（1商品）

- ・あおぞら・新グローバル分散ファンド
（限定追加型）2023-07

◆おかやましんきん「ベストパートナー2023」

○ 2023年9月1日

◆投資信託新商品（4商品）

- ・つみたて米国株式（S&P500）
- ・つみたて全世界株式
- ・Niつみインデックスラップ世界10指数（均等型）
- ・日本株式・Jリートバランスファンド

○ 2023年12月1日

◆「おかやましんきんファジアーノ岡山応援定期
2024SEASON」

○ 2024年1月4日

◆投資信託新商品（6商品）

- ・インバウンド関連日本株ファンド
- ・米国超長期プライム社債ファンド（奇数月分配型）
- ・朝日Nvestグローバルバリュー株オープン
（年4回決算型）
- ・ダイワJ-REITオープン（奇数月決算型）
- ・ダイワ・US-REIT・オープン
（為替ヘッジなし／奇数月決算型）
- ・東京海上・世界モノポリー戦略株式ファンド
（年6回決算型）

(2) お客様などを対象に以下の行事を実施いたしました。

○ 若手経営者の会「おかやまPRODUCE」の活動

- ・セミナー、ミーティングなどの定例会（計4回開催）
- ・結成11周年記念講演（講師：勝矢雅一氏）

※（「おかやまPRODUCE」2024年3月末現在会員数121名）



○ 「免税事業者向けインボイスセミナー」の開催
（参加者数26名）

○ 第17回岡山県しんきん合同ビジネス交流会の開催
来場者数：ブース参加者1,300名、一般参加者1,500名、
合計2,800名



○「おかやましんきんSDGsアワード2023」の実施

83先の応募をいただき26先が受賞



○「第11回おかやましんきん地域活性化支援制度
“エリアサポート”」の実施

86先の応募をいただき11先に助成金を贈呈



○ 内山下スクエア、当新田支店、西奉還町支店、妹尾支店で
のセミナー開催

趣味や健康、セカンドライフなど幅広いテーマのセミナー
を200回開催（参加者数延べ991名）

○「お客様向け資産運用セミナー」を6回開催
（参加者数延べ64名）

○「相続・遺言信託等相談会」を1回開催
（参加者数4名）

- 「第28回お取引先新入社員研修会」の開催
(参加企業38社78名)



- 「クラウドファンディングセミナー」の開催
(参加企業34社)

- ファジアーノ岡山「おかやま信金デー」ご招待

(3) 地域貢献活動などを下記のとおり実施しました。

- 私募債発行金額の0.2%相当額の物品などを私募債発行事業者様が希望した先に寄贈する「おかやましんきんSDGs寄付型私募債」について、2023年度は1先に発行し、学校に物品を寄贈いたしました。



○「信用金庫の日」の活動

・清掃活動

2023年6月5日～15日に各営業部店の職員が自店舗の周辺を清掃いたしました。



・献血

2023年6月15日に本店にて当金庫役職員による献血を実施いたしました。



・映画鑑賞会

2023年6月16日に岡山メルパにて「銀河鉄道の父」を上映し、お客様をご招待しました。



- 「おかやましんきんファジアーノ岡山応援定期
2023SEASON」のお預入総額が一定の金額に達したこ
とから「ファジアーノ岡山」にチーム強化資金として
200万円を寄贈いたしました



- 「第28回うらじゃ」に参加いたしました



- 「旭川一斉清掃」に参加いたしました



- ふれあいサークル活動として開催
・相好会（ゴルフ大会）延べ281名参加

- 「第515会西大寺会陽」の祝主を務めさせていただきました



(4) 店舗のリニューアルオープン

- 2023年10月10日に吉備支店をリニューアルオープンいたしました



各種相談窓口

中小企業者等の金融円滑化に向けたご相談および苦情相談窓口の設置について

中小企業者からの新規案件や事業性融資資金に係る貸付条件の変更などに関する相談・申込み、また、住宅資金に係る貸付条件の変更などに関する相談・申込みに関する苦情相談を適切におこなうため、以下のとおり専用相談窓口を設置しております。

- 電話・メールによる専用相談窓口
 - フリーダイヤル：0120-173-550
 - 受付時間：平日 午前9時～午後5時
 - メールアドレス：enkatsu@okayama.shinkin.jp
 - 対応部署：価値創造部
- 各営業部店相談窓口
 - 設置場所：全営業部店
 - 窓口での相談受付時間：平日 午前9時～午後3時
 - 電話による相談受付時間：平日 午前9時～午後5時

「振り込め詐欺救済法」に関する被害者専用窓口の設置について

「犯罪利用預金口座等に係る資金による被害回復分配金の支払等に関する法律」（いわゆる「振り込め詐欺救済法」）が2008年6月21日に施行されました。これを受けて、振り込め詐欺などの犯罪被害資金を、当金庫の口座に振り込んだ方からの電話を受け付ける専用窓口を設置しております。この法律では、振り込め詐欺などの犯罪に利用された口座を凍結して、残っている犯罪被害金を、被害者の方へ分配する手続きなどが定められております。

最終的な分配までには、口座名義人の預金債権消滅手続や、分配金支払申請受付手続などをおこなうこととなっております。被害のお申出を承り、実際に被害資金返還手続がおこなわれる際に連絡を差し上げる取り扱いとなります。振込みをおこなった時の「振込控」「請求書」「チラシ」などは大切に保管してください。

- フリーダイヤル：0120-173-051
- 受付時間：平日 午前9時～午後5時
- 担当部署：コンプライアンス部

金融ADR制度への対応について

【苦情処理措置】

当金庫は、お客様からの苦情のお申し出に公正かつ的確に対応するため業務運営体制・内部規則を整備し、その内容をホームページ、パンフレットなどで公表しております。

苦情は、当金庫営業日（午前9時～午後5時）に営業部店またはお客様相談室（電話番号086-223-7682）にお申し出ください。

証券業務に関する苦情は、当金庫が加入する日本証券業協会から苦情の解決業務などの委託を受けた「特定非営利活動法人証券・金融商品あつせん相談センター（ADR FINMAC）」（電話番号0120-64-5005）でも受け付けております。

【紛争解決措置】

当金庫は、紛争解決のため、当金庫営業日に上記お客様相談室にお申し出があれば、岡山弁護士会岡山仲裁センター（電話番号086-223-4401）にお取次ぎいたします。また、お客様から直接お申し出いただくことも可能です。

証券業務に関する紛争は、当金庫が加入する日本証券業協会から紛争の解決のあつせんなどの委託を受けた上記「特定非営利活動法人証券・金融商品あつせん相談センター（ADR FINMAC）」でも受け付けております。

お客様の声をお聞かせください。

お客様の当金庫に対するご要望や満足度など率直なご意見をお聞かせください。私どもは「お客様の声」を大切にし、より一層満足いただける金融機関へと成長できるよう努めてまいります。

お客様アンケートの回答は
こちらからお願いいたします。

<https://forms.gle/yvss6FezZCGJWpxe6>



ご入力いただきました個人情報につきましては、お客様の同意なく第三者に開示することはございません。

また、ご回答内容につきましては、当金庫の業務改善やサービス向上の目的にのみ利用させていただきます。

いつも、あなたと。
おかやま信用金庫



■本部

経営企画部	(086)223-7130
市場金融部	(086)223-7112
総務部	(086)223-7475
事務統括部	(086)223-7687
与信統括部	(086)223-7429
価値創造部	(086)223-7672
監査部	(086)223-7683
コンプライアンス部	(086)223-7129
◆お客様相談室	(086)223-7682

●中央地区

本店営業部	(086)223-7721
内山下支店	(086)225-0911
野田屋町支店	(086)223-0146

●東地区

旭東支店	(086)272-5261
瀬戸支店	(086)952-0063
東岡山支店	(086)279-0550
操山支店	(086)276-0777
松新町支店	(086)942-8888
藤原支店	(086)273-6611
平井支店	(086)277-4841
西大寺支店	(086)943-3800

●西地区

大元支店	(086)243-5111
中庄支店	(086)426-6222
藤田支店	(086)296-4611
妹尾支店	(086)282-1101
辰巳支店	(086)241-7756

●南地区

福島支店	(086)262-2201
操南支店	(086)276-1234
三浜町支店	(086)262-1211
当新田支店	(086)241-6661
豊成支店	(086)263-1131

●北地区

金川支店	(086)724-0620
横井支店	(086)294-3456
西奉還町支店	(086)252-3178
津島支店	(086)252-8951
吉備支店	(086)293-0511

●玉野地区

琴浦支店	(086)472-0388
和田支店	(0863)81-8030
荘内支店	(0863)71-1515
東児支店	(0863)33-1531
玉野営業部	(0863)31-1711

(2024年7月現在)